

地球温暖化防止活動推進員密着レポート

ゼロカーボンに向けて一人ひとりができること



6月22日、長野県連合婦人会が長野市生涯学習センターで開いたセミナーでは、県推進員の**中澤博道さん(長野市)**を講師に、2050年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン」の実現に向け、一人ひとりができることについて学びました。

中澤さんは当協会前事務局長で、『[信州版]省エネガイドブック～楽しく!無理なく!得をする!～』の作成に携わるほか、食と農を出発点に、無理をしないで、でも少しだけやせ我慢を受け入れて、地球温暖化防止などに取り組んでいます。

講演では『信州ゼロカーボン BOOK(県民編)』掲載の、令和元年東日本台風(台風19号)により甚大な被害があった長野市(千曲川流域)の写真を示しながら、自身の家が床上浸水となり避難所生活を余儀なくされたことを振り返り、地球温暖化防止の重要性を訴えました。

エネルギー問題から家電の省エネや食について解説。食については「旬のものを地産地消で食べることで、輸送に伴う二酸化炭素排出削減や地域の活性化につながる」と話しました。

家庭の省エネの進め方



7月2日、小諸市食生活改善推進協議会が小諸市保健センターで開いた講習で、県推進員の**赤尾興一さん(小諸市)**が講師を務め、家庭の省エネの進め方を伝授しました。

赤尾さんは退職以来、環境ビジネス33年の経験を生かして、地球温暖化防止活動をしてきました。最近は啓発活動以外に、具体的に二酸化炭素排出削減を図るべく、「うちエコ診断士」として家庭の省エネに注力しています。

講習では、長野県における気候変動と将来予測について説明した上で、推進員有志で作成した『[信州版]省エネガイドブック』を教材に、家庭の省エネの進め方を解説。夏を涼しく過ごすコツをはじめ、ごみを減らして涼しく作る夏の食生活、天然冷蔵庫の風穴などについて、実体験を交えながら話しました。このうち、風穴については、小諸市の「氷風穴」を紹介。真夏でも温度4~5度を保ち、漬物などの保存が可能といい、「市内の風穴群は明治40年頃に、蚕種の貯蔵量が全国トップだった。お近くの風穴をぜひ冷蔵庫代わりに使い、省エネしてみても」と呼びかけました。(県センター 本山聖一)

『[信州版]夏の省エネガイドブック』(2021年度改訂版)公開



A4版・28頁

昨夏、県推進員有志が作成したガイドブックを、今年5月から2ヶ月かけて見直し、内容を充実させて4頁増やした改訂版です。「地球温暖化と私たちの暮らし」「コンロ ガスと電気 どちらがお得?」「植物で夏のくらしを涼しく」「地球温暖化とプラスチック」などが加わりました。ぜひ、県センターホームページからダウンロードしてご活用ください。



@nccca2021



地球温暖化、省エネ等の情報を発信します。フォローをお願いします。